

第308回薬事委員会報告

日時 令和6年 2月 5日（水）15:00～15:40
場所 病院会議室A
出席者 堀、高松、川浪、今福、合馬、戸川、小松、長谷川、塩出、神村、兼重
欠席者 三宅

議 事
Ⅰ. 医薬品新規採用の適否について
＜新規・追加申請＞

	適否	採 用 医 薬 品	削 除 医 薬 品
1	適	ネオグリセロール	キャンフェニック「ネオ」
2	適	ヘモレックス軟膏	ネリザ軟膏
3	適	タダラフィル錠5mgZA「シオエ」＊	バップフォー細粒2%
4	適	クービビック錠25mg	ベンザリン錠5
5	適	クービビック錠50mg	エチゾラム錠1mg「EMEC」
6	適	イノソリット配合経腸用半固形剤	ラコールNF 配合経腸用半固形剤
7	適	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」	セファメジンα点滴用キット2g
8	適	メロペネム点滴静注用1g「NP」	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「VTRS」

削除医薬品が先発品の場合は、削除決定後自動的に院外専用医薬品となる。
＊申請はザルティア錠5mgだがオーソライズドジェネリックがあるため、同意のもとで切り替えている。

＜切替申請＞
該当なし

Ⅱ. 後発医薬品（GE）の切替採用申請

	適否	AG/BS	製 品 名	削 除 医 薬 品
1	適	－	エダラボン点滴静注液30mg バッグ「明治」**	ラジカット点滴静注バッグ30mg
2	適	－	レボフロキサシン点眼液1.5%「わかもと」	クラビット点眼液1.5%
3	適	－	ブロムフェナクNa点眼液0.1%「ニッター」	ブロナック点眼液0.1%
4	適	－	ブリモニジン酒石酸塩点眼液0.1%「SEC」	アイファガン点眼液0.1%
5	適	－	ドルモロール配合点眼液「わかもと」	コソプト配合点眼液
6	適	－	ヘモポリゾン軟膏	強力ポステリザン（軟膏）
7	適	－	ビルダグリプチン錠50mg「サワイ」	エクア錠50mg
8	適	－	エゼロス配合錠HD「サワイ」	ロソーゼット配合錠HD
9	適	－	ドネベジル塩酸塩OD錠3mg「NP」	アリセプトD錠3mg
10	適	－	ドネベジル塩酸塩OD錠5mg「NP」	アリセプトD錠5mg

**「筋萎縮性側索硬化症（ALS）における機能障害の進行抑制」の適応は無い。その場合はラジカット点滴静注バッグ30mgで対応する

Ⅲ. 試薬・製剤原料等購入申請
該当なし

Ⅳ. 新規院内特殊製剤
該当なし

Ⅴ. 臨時購入医薬品（院内専用 患者限定）
新規購入品目（令和6年11月9日～令和7年1月10日）

	製 品 名	申 請 科	申 請 理 由
1	ツートラム錠150mg	呼吸器内科	慢性疼痛
2	レットヴィモカプセル80mg	呼吸器内科	RET 融合遺伝子陽性の進行・再発の非小細胞肺癌
3	スプリセル錠50mg	腫瘍・血液・感染症内科	急性リンパ性白血病
4	ビクタルビ配合錠	腫瘍・血液・感染症内科	HIV 感染症
5	ベネクレクスタ錠10mg	腫瘍・血液・感染症内科	慢性リンパ性白血病
6	エポプロステノール静注用0.5mg「ヤンセン」	循環器内科	突発性肺動脈性肺高血圧症

7	シンビット静注用 50mg	循環器内科	心室頻拍
8	ビロイ点滴静注用 100mg	消化器外科	CLDN18. 2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌
9	ドブテレット錠 20mg	消化器内科	肝硬変、脾腫、血小板減少症
10	レベスティブ皮下注用 3. 8mg	消化器内科	短腸症候群
11	オレンシア皮下注 125mg オートインジェクター1mL	腎臓・膠原病内科	関節リウマチ
12	サムスカ OD 錠 7. 5mg	腎臓・膠原病内科	腎容積がすでに増大しており、かつ腎容積の甚大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制
13	アドエア 500 ディスカス 60 吸入用	整形外科	慢性背側性肺疾患
14	ツムラ桂枝茯苓丸加よく苡仁エキス顆粒（医療用）	精神神経科	骨盤内うつ滞症候群
15	オルミエント錠 2mg	総合診療科	関節リウマチ
16	ノボラビッド 30 ミックス注 フレックスペン	総合診療科	2 型糖尿病
17	ケレンディア錠 20mg	内分泌・糖尿病内科	糖尿病性腎症
18	ノボラビッド注 100 単位/mL	内分泌・糖尿病内科	一型糖尿病
19	イムセラカプセル 0. 5mg	脳神経内科	多発性硬化症
20	モイゼルト軟膏 1%	皮膚科	アトピー性皮膚炎

VI. 院外専用医薬品の追加承認（令和 7 年 1 月 10 日時点）

アドトラザ皮下注 300mg ペン	アルンブリグ錠 30mg	クービビック錠 25mg
クービビック錠 50mg	ノボラビッド注 100 単位/mL	フリュザクラカプセル 1mg
フリュザクラカプセル 5mg	ユバンシ配合錠	レットヴィモカプセル 40mg
レットヴィモカプセル 80mg		

VII. 販売名変更のご案内

該当なし

VIII. 販売中止に伴う切替採用申請および採用削除

（販売中止に伴う切替採用申請）

	区分	同 効 採 用 薬	販 売 中 止 削 除 薬 品	在庫消尽予定時期 （経過措置期間満了日）
1	常備	アラグリオ内用剤 1. 5g （バイアル製剤）	アラグリオ顆粒剤分包 1. 5g （顆粒製剤）	2025 年 4 月 （2026 年 3 月 31 日）
2	常備	グリセリン「ニココー」	グリセリン「マルエイシ」	2024 年 10 月 （2025 年 3 月 31 日）

（販売移管にともなう切替採用申請）

	区分	同 効 採 用 薬	販 売 中 止 削 除 薬 品	在庫消尽予定時期 （経過措置期間満了日）
1	常備	ドブタミン持続静注 150 mgシリンジ「テルモ」	ドブタミン持続静注 150 mgシリンジ「KKC」	

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ

（供給遅延・供給停止等に伴う切替採用申請）

	区分	切替採用候補薬	薬 効	供給遅延、停止中の採用薬
1	常備	セファゾリンナトリウム注射用 0. 5g「日医工」	セフェム系抗生物質	セファゾリン Na 注射用 0. 5g 「NP」

X. 副作用報告

2024 年 11 月～12 月の副作用報告件数は 20 件であり、そのうち非重篤なものは 19 件、重篤なものは 1 件（下記記載）であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
2024/12/07	68	男性	ウブレチド錠 5 mg メスチノン錠 60 mg	コリン作動性クリーゼ疑い、嘔吐、 下痢、コリンエステラーゼ低下	軽快*	薬剤師	無

*医療用語では明確な定義はないが、広辞苑によれば回復は健康状態に戻ることを、軽快は病気が少しよくなることを意味する。

XI. 同種同効薬：採用医薬品の適正化

該当なし

XII. その他

1. 使用量低頻度医薬品の院内削除について
 該当なし

2. 適応外・禁忌医薬品使用に係る申請

	申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の必要性
適応外	整形外科	リファンピシムカプセル 150mg 「サンド」	左下腿蜂窩織炎（インプラント感染疑い）	なし
適応外	循環器内科	コルヒチン錠 0.5mg 「タカタ」	心膜炎	なし
適応外	産婦人科	バイアスピリン錠 100mg	妊娠高血圧腎症の既往	なし
適応外	総合診療科	コルヒチン錠 0.5mg 「タカタ」	ベーチェット病の疑い	なし
適応外	歯科口腔外科	プロポフォール静注 1%20mL 「マルイシ」	歯科治療恐怖症	なし
適応外	皮膚科	シクロスポリンカプセル 25mg、50mg 「サンド」	水疱性類天疱瘡	なし
適応外	整形外科	リファンピシムカプセル 150mg 「サンド」	右化膿性膝関節炎	なし
適応外	整形外科	リファンピシムカプセル 150mg 「サンド」	人工股関節後感染	なし
適応外	心臓血管外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g 「明治」	僧帽弁狭窄閉鎖不全症	なし

3. 薬事ニュース No. 110 （資料1）

4. 後発医薬品使用体制加算について

2022 年 4 月以降の後発医薬品の割合は 90%以上、カットオフ値 50%以上である。

後発医薬品使用体制加算 1（47 点→87 点：入院期間中 1 回に限り、入院初日に算定）の取得継続が可能となった。

今後も、現状を維持すべく後発医薬品の使用を推進していく。

	10 月	11 月	12 月
全医薬品の規格単位数量 (①)	568, 201	563, 973	612, 339
後発医薬品あり先発医薬品及び 後発医薬品の規格単位数量 (②)	246, 974	252, 604	284, 104
後発医薬品の規格単位数量 (③)	227, 418	233, 565	263, 517
カットオフ値の割合 (②/①) ※	53. 3% ※	53. 6% ※	54. 9% ※
後発医薬品の割合 (③/②)	92. 08%	92. 46%	92. 75%

※令和 6 年度薬価改定を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いでの数値

5. バイオ後続品使用体制加算について

令和 6 年度診療報酬で新設され、(1)直近 1 年間の使用回数が 100 回以上かつ、(2)≥80%、(3)≥50%でバイオ後続品使用体制加算（バイオ医薬品を使用する患者について入院初日に 100 点）の取得が可能となった。(1)については、年間使用回数が 100 回以上であることを確認した。

	置き換え割合 80%以上	置き換え割合 50%以上
バイオ医薬品の内、バイオ後続品の 規格単位数量の合計 ①	1, 610	5, 733
バイオ医薬品の規格単位数量の合計 ②	1, 639	8, 097
①/②	(2) 98. 2%	(3) 70. 8%
	(イ) エポエチン (ロ) リツキシマブ (ハ) トラスツズマブ (ニ) テリパラチド	(イ) ソマトロピン (ハ) エタネルセプト (ホ) ベンシズマブ (ト) インスリンアスパルト (リ) ラニビズマブ (ロ) インフリキシマブ (二) アガルシダーゼベータ (ヘ) インスリンリスプロ (チ) アダリムマブ

6. 2025 年度の薬事委員会開催予定について(資料 2)

7. その他

2025 年 1 月 20 日現在の総採用品目数は 2, 436 品目であり、うち後発医薬品は 548 品目（22. 5%）である。

次回薬事委員会は、令和 7 年 4 月 2 日（水）15 時より病院会議室 A で行う。